

現代奴隷制に関する声明



本声明は、2021年12月31日付の1年間に、業務およびサプライチェーンにおける強制労働、児童労働、奴隷制、人身売買（以下「現代奴隷制」）に対処するためにZoetis Inc.およびその連結子会社（以下「ゾエティス」または「当社」）が実施した活動を説明するものです。当社は、ウイグル強制労働防止法、カリフォルニア州サプライチェーン透明法、英国現代奴隷法、および豪州現代奴隷法（以下「本法律」）に従って、本声明を公開します。当社の連結グループのすべての事業体が本法律の対象であるわけではありません。しかし、当社は人権を擁護し、現代奴隷制に反対する共通の方針とコンプライアンス手順を事業全体で導入しているため、本声明をゾエティスの全グループを対象とする連結ベースで作成しました。

ゾエティスの目的およびコアビリーフ

ゾエティスは、医薬品、ワクチン、診断用製品・サービス、バイオ機器、遺伝子検査、精密動物医療テクノロジーの創薬、開発、製造、商品化に特化したアニマルヘルス業界のグローバルリーダーです。多角的に事業を運営する当社は、犬、猫、馬（以下総称して「コンパニオンアニマル」）、牛、豚、鶏、魚、羊（以下総称して「家畜」）の8種の主要動物種を対象に、寄生虫駆除薬、ワクチン、皮膚科医薬品、その他の動物用医薬品、抗菌剤、動物用診断検査、薬用飼料添加剤の7つの主要製品カテゴリーで製品を販売しています。当社は70年にわたり、動物の病気を予測、予防、発見、治療する方法を革新し、畜産農家や獣医師から飼い主まで、世界中で動物の飼育や世話をしている皆様をサポートしてきました。当社が事業を運営し、私たちが生活する地域社会の健康と生活の質を改善するという当社のコミットメントは、すべての人が敬意を持って公平に扱われるべきであるという信念に基づいています。

当社は、すべての人の人権と尊厳を尊重し、人権を促進し擁護するあらゆる活動を支援し、現代奴隷制に反対しています。当社は、当社の業務または当社のサプライチェーンにおける人権侵害を許容しません。また、当社の業務とサプライチェーンにおける現代奴隷制のリスクを軽減することを目的とした方針と手順の実施に尽力しています。

ゾエティスの組織構造、業務およびサプライチェーン

当社のグローバルな製造・供給ネットワークには、28箇所の製造拠点のほか、研究開発部門、商業部門、物流部門があります。当社の拠点運営は、ゾエティスの方針と手順（本声明に記載しているものを含みます）に従っています。特に、環境・安全衛生（EHS）方針には、従業員の権利、安全衛生、環境保護に関する項目が含まれています。当社は、拠点のパフォーマンスの監視と審査を定期的実施することで、私たちの行動水準が当社が定める高い要求事項を満たすように徹底しています。

ゾエティスでは、責任あるサプライチェーン管理が事業運営の中核にあります。当社は、倫理的責任、社会的責任、環境責任に沿った原則の枠組みの中で事業を運営し、当社の事業と当社が事業を運営する地域社会のサステナビリティを確保しています。外部サプライヤーのネットワークは、ペットが健康に長生きするのを助け、家畜の健康、福祉、生産性を向上させる医薬品、ワクチン、診断用製品の製造やテクノロジーの実現に必要な不可欠です。当社は、EHS管理で優れた実績を示すサプライヤーの使用に努めています。

ゾエティスの業務とサプライチェーンにおける現代奴隷制のリスク

当社は、以下の理由により、当社の業務とサプライチェーンにおける現代奴隷制のリスクは低いと考えています。

- エンタープライズリスク管理 (ERM) プログラムは、当社の戦略的リスクを特定し、そのリスクの軽減を推進する目的で策定されています。これまでのところ、ERMプログラムによって、ゾエティスの業務またはサプライチェーンの重大なリスクとして現代奴隷制のリスクは特定されていません。
- 当社は、採用活動、労働時間、職場での行動などに関する人事方針、手順、トレーニングを導入しています。これらの項目は、特に当社の事業運営においてこのリスクを軽減すると当社は考えています。
- コンプライアンス通報制度またはゾエティス倫理ホットラインを通じて、当社の業務、サプライヤー、またはサプライチェーンにおける現代奴隷制または人権に関する問題が報告されたことはありません。
- 一般に公開されている情報源を継続的に確認していますが、当社のサプライヤーまたはサプライチェーンが関係する現代奴隷制または人権に関する懸念は報告されていません。

現代奴隷制のリスクに対処するために講じている措置

ゾエティスは、責任を持ってサプライチェーンとの関係を管理するために以下の手順を実施しています。また、本法律の開示要件に従い、以下の情報を提供しています。

- **検証／デューデリジェンス：**ゾエティスは、リスクに基づいた社内デューデリジェンスプロセスを通して、サプライヤーを評価しています。このプロセスは、リスクが高い可能性のあるサプライヤーを特定することを目的としており、特定されたサプライヤーには、必要に応じて、デューデリジェンスの追加実施、監視の強化、その他の管理対策の適用を実施します。
- **契約：**サプライヤーには、サプライヤーとの標準契約により、強制労働、児童労働、奴隷制、人身売買に関する、サプライヤーが事業を運営する国の法律を含むすべての適用法を遵守することを義務付けています。ゾエティスは、強制労働、児童労働、奴隷制、人身売買を一切容認しない方針（ゼロトレランス方針）を運用しています。本法律に定められる規定を遵守できないサプライヤーには、サプライヤー契約は付与されません。当社は、サプライヤーが本声明、当社の方針（以下に記載します）の遵守に同意しない場合、またはサプライヤーによる違反や容認できない行動が判明した場合、委託しているサプライヤーとの取引を停止する権利を留保します。
- **監査：**当社は、一定期間ごとに、サプライヤーの定期評価と現場アセスメントを実施し、サプライヤーが当社の基準と方針、およびすべての適用法、規則、規制を遵守していることを確認しています。当社は、リスクに基づくアプローチ（EHSリスクと事業継続性リスクを併用）を使用して、アセスメント対象のサプライヤーとアセスメントの頻度を決定しています。アセスメントは、リスク、所在地、アセスメントに必要な専門知識に基づき、ゾエティスの社員または外部契約のいずれかによって実施されます。サプライヤーには、特定された問題に対して十分な対応を実施し、是正措置を講じたことを証明することを求めます。遵守しなかった場合、または不遵守の状況を是正しなかった場合、取引関係を終了する事由となります。

- **報告**：強制労働、児童労働、奴隷制、または人身売買の申立はコンプライアンスチームに報告され、コンプライアンスチームが適切な対応を判断します。当社は、懸念の報告を義務付け、内部通報者を保護する強固な体制を構築しています。
- **当社の方針**：当社は、当社の業務またはサプライチェーンにおいて強制労働、児童労働、奴隷制、または人身売買が発生することがないように尽力しています。当社の方針には、すべての取引関係において倫理的かつ誠実に行動すること、および当社の業務またはサプライチェーンにおいて強制労働、児童労働、奴隷制、人身売買を決して発生させないためのシステムと管理対策を導入・実施することに対する当社のコミットメントが反映されています。関連する方針を以下に記載します。
 - **サプライヤー行動原則**：この原則は、責任ある企業活動と事業慣行が社会や企業に最高のサービスを提供するという信念に基づき、当社がすべての供給パートナーに求める行動を定めています。この原則には、現代奴隷制に関する当社の見解が含まれています。具体的には、サプライヤーは児童労働、強制労働、拘束労働、年季奉公、または非自主的な囚人労働を使用してはならない旨が記載されています。
 - **サプライヤーの行動指針に関する声明**：本声明は、サプライヤー行動原則の遵守に関して、すべてのサプライヤーに求められる期待事項を取り上げています。
 - **行動規範**：当社の行動規範は事業の運営方法と決定を下す際の指針を定めており、全従業員と請負業者はこの基準を遵守する必要があります。本規範には人権の尊重に対する当社のコミットメントが明記されています。また、雇用時に新入社員全員にトレーニングを実施し、現従業員にも定期的にトレーニングが割り当てられます。
 - **贈収賄／腐敗行為防止に関する原則**：腐敗行為は人権問題の可能性を示すレッドフラッグです。ゾエティスは、全世界における当社の事業活動において、最高水準の倫理的行動と誠実さを実践するよう努めています。本方針には、米国海外腐敗行為防止法、英国贈収賄防止法、ならびに当社が事業を運営する国・地域のその他すべての贈収賄および腐敗行為防止法の遵守を含め、贈収賄の防止および禁止に関する当社の指針が記載されています。ゾエティスは、当社の従業員、代理店もしくはコンサルタント、または当社に代わって行為する人物もしくは組織が関与するあらゆる形態の贈収賄を許容しません。
- **トレーニング**：ゾエティスは、全従業員にコンプライアンストレーニングを定期的に提供しています。その内容には、本法律の原則も含まれます。

現代奴隷制の申立は、以下のチャンネルを通じて、ゾエティスのコンプライアンス部門に速やかにご報告ください。

- **電子メール**：Compliance@Zoetis.com
- **電話**：コンプライアンスヘルプラインの電話番号（米国およびカナダ）：1-855-322-9944
- **コンプライアンスヘルプラインのウェブ通報ツールによるオンラインでの報告**：<https://zoetis.ethicspoint.com>

本声明に記載するコアビリーフについて今後熟考が重ねられる予定であり、それを受けて、ゾエティスは2023年に包括的なグローバル人権方針を策定する予定です。

認証 – 英国現代奴隷法

Zoetis UK Ltdの取締役であり、正式に授権された代表者である下記の署名者は、2022年_____に本声明を承認しました。本声明は1年に1回見直され、必要に応じて更新されます。

Ben Backmann

ヨーロッパ／アフリカ／中東、オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、南アジア、東南アジア、水生動物ヘルス担当バイスプレジデント兼主任法律顧問